

若竹のように 「たくましく・すくすくと」



若竹だより

呉市立天志小学校

平成 29 年 11 月 30 日

若竹学習発表会

本年度も、多くのご参観ありがとうございました。

今年は、2 学年合同で合唱と合奏を中心とした発表会でした。子供たちを、**おしめない拍手**で盛り上げていただき、ありがとうございました。

先生方も子供たちも、真剣に練習に取り組んできました。前日まで体調が万全でない子供もいましたが、本番はどの学年も力を出しきっていたと思います。何より最後までやり切った姿を見、うれしく思いました。

今年の発表会で新しく取り入れたのが「**全校合唱**」です。人数が増えたから迫力が増すのではなく、学年を超えて一緒に演じることから生まれる「**迫力**」を感じました。お互いに尊重しあわないとうまくできません。それぞれが練習を重ね、何度か合わせていくうちに、「みんなと合わせていこう」という意識が自分の内に芽生えてきたと思います。この体験が子どもたちを成長させると思っています。

鍛えればそれに応えようとする子供たち。これからもどんどん大きく成長するための体験を、たくさんさせていきたいと思っています。



車づくりと環境について学びました

10月20日（金）に5年生が社会見学で「江波山気象館」と「マツダ」を訪れました。

マツダミュージアムでは、マツダの歴史について、展示を見たり、「スカイアクティブテクノロジー」についての説明を聞いたり、実際に自動車が組み立てられている様子を見学したりしました。





普段何気なく乗っている自動車が出来るまでの、たくさんの工程があり、多くの方々の工夫や努力によって自動車づくりが支えられているということも学ぶことができました。

また、将来自分たちが運転する可能性がある、「未来の自動車」についても学ぶことができました。マツダでは、「ロータリーエンジン」を活用しながら、水素で走ることができる自動車を、現在も開発し続けているそうです。

マツダ車は、部品の90%以上がリサイクルできるものを使用しており、自動車の製造と同時に、環境を守るための取り組みをしていることも知ることができました。



続いて、11月6日（月）には、実際にマツダから講師をお招きし、「マツダの環境への取り組み」について教えていただきました。

実際の水素自動車にふれることで、排気管から水しか出ないことを実感しました。地球環境のことも考えながら自動車づくりを行っているマツダの取り組みについて知ったことで、「もっと車づくりと環境のことを調べたくなった。」という声も聞こえてきました。



表彰された子供たち

- 広島県科学賞 特選
広島県教育委員会賞
4年 岡本 優作
- 呉市小学校陸上記録会
100m走 第2位 14.92秒
5年 川西 和也
100m走 第9位 15.89秒
5年 鳴戸 ひさの
- 入船山時計塔旋律募集 努力賞
4年 沖元 希海
- 広島県緑化ポスター原画コンクール 佳作 理事長賞
3年 長船 真鈴

12月の予定

- 3日（日）
ロードレース大会
- 4日（月）
振替休日
- 7日（木）
3・4年ミルク学習
- 8日（金）
6年生ふるさと探訪（御手洗地区）
- 11日（月）
諸費集め
- 15日（金）
しめ縄・餅つき会
- 20日（水）
5年生大和ミュージアム見学
- 21日（木）
給食終了 あゆみ渡し
- 22日（金）
終業式 あゆみ渡し
- 12月23日（土）～1月8日（月）
冬休み